

なかどまり  
議会ガイド

第 74 号

令和 5 年 11 月 10 日



始動！議会活性化特別委員会（三戸町議会視察の様子）

もくじ—Contents—

令和 5 年第 3 回定例会

補正予算・条例などの議案	…… 2～3
議員による一般質問	…… 4～5
決算特別委員会	…… 6～7

第 3 回中泊町議会臨時会	…… 8
委員会だより	…… 9～10
活動報告	…… 11
議会の動き	…… 12

編集：中泊町議会広報委員会

発行：中泊町議会

〒037-0392 青森県北津軽郡中泊町大字中里字紅葉坂209 ☎0173-57-2111(代)

HP <http://www.town.nakadomari.lg.jp/>

## 決算特別委員会で審査のうえ 令和4年度各会計の決算認定

### 9月 定例会

### 補正予算

(千円)

会計	補正額	補正後総額
一般会計補正予算 第4号	5億2,957万8千円	79億5,533万円
国民健康保険特別会計 補正予算第1号	(事業勘定) 2,994万3千円	(事業勘定) 15億8,430万1千円
	(施設勘定) 206万8千円	(施設勘定) 1億5,043万9千円
介護保険事業特別会計 補正予算第2号	3,132万1千円	18億3,994万3千円
水道事業特別会計 補正予算第2号	(収益的収入) 302万8千円	(収益的収入) 3億3,839万5千円
	(収益的支出) 279万円	(収益的支出) 3億610万5千円

### 〈会期日程〉

- 9月1日  
開会・町長提案理由説明
- 9月2日～9月4日  
休会・議案熟考
- 9月5日  
一般質問
- 9月6日～9月7日  
決算特別委員会
- 9月8日  
単行案審議・閉会

### 主な補正予算

#### 総合福祉健康 センター建設工事

建設工事及び外構工事の物価高騰等に伴う増額した工事費分。

**1億3,002万円**

#### 高齢者生活福祉 センターボイラー 取り替え工事

小泊地域の高齢者生活福祉センターのボイラー取り替えに掛かる工事費。

**1,540万円**

#### 総合福祉健康 センター管理事務業務

案内のパンフレットやチラシ、落成式にかかる費用など。

**1,100万5千円**

#### 健やか住宅 リフォーム工事

青森県と連携して取り組みを進めている健やか住宅リフォーム工事にかかる工事費。

**1,234万2千円**

令和5年第3回定例会が9月1日に開会しました。9月5日には一般質問が行われ、2人の議員が質問しました。9月6日と7日は、令和4年度各会計の歳入歳出決算を、議員全員で構成する決算特別委員会で審議しました。9月8日には、議案の審議が行われ、報告4件、補正予算や条例改正などの議案16件の全てが原案のとおり可決、承認されました。

## 条 例

■中泊町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について  
半島振興法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

■中泊町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について  
電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

## 報 告

■中泊町固定資産評価審査委員会委員の選任について  
中泊町固定資産委員会の委員が欠けたことに伴い、補欠の委員として長利俊広氏を選任するものであるが、議会を招集する時間的余裕がなく、専決処分したため、議会の承認を求めるもの。

■令和4年度中泊町財政健全化判断比率の報告について  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、財政健全化判断比率を監査委員の意見を付して、議会に報告するもの。

■令和4年度中泊町公営企業会計に係る資金不足比率の報告について  
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、農業集落排水事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、水道事業特別会計の資金不足率を監査委員の意見を付して議会に報告するもの。

■令和4年度中泊町教育委員会事務の管理・執行状況の点検及び評価報告書について  
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育委員会事務の管理・執行状況の点検及び評価について、令和4年度の実績により報告するもの。

## 人事・その他

■人権擁護委員候補者の推薦について意見を求めるの件  
現委員の山本弘氏の任期が令和5年12月31日をもって満了することに伴い、後任の委員として同氏を再推薦するにあたり、議会の意見を求めるもの。

■西北五環境整備事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び西北五環境整備事務合規約の変更について  
ごみ処理施設の設置に関する事務の構成団体に、鱸ヶ沢町と深浦町を追加することに伴い、規約変更するため、議会の議決を求めるもの。

## 決 算

■決算の認定について(7議案)  
令和4年度の一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、介護保険事業特別会計歳入歳出決算、農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算、漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、水道事業特別会計利益の処分及び決算について、監査委員の意見を付して議会の認定を求めるもの。詳細は、6～7ページに記載。

## 町の長期総合計画において 運動公園と斎場の 位置付けそして方針は！



荒関 富雄 議員

**議員**

運動公園と斎場について、町の最上位計画である中泊町長期総合計画及び実施計画においての位置付け、そして現在の整備の方針を伺う。また、広域化の考え方を示せ。

**町長**

我が町のみならず全国的に地方では過疎化、少子化が進んでいる状況にあり、当町の人口が2045年には約4,000人まで減少する推計もある。このような町の目指すべき発展の方向性と、その実現に必要な施策の基本的方向などを示す最上位計画、中泊町長期総合計画をもとに、町政運営を行っている。現在は、第2次長期総合計画の中の後期計画、さらにその中の第3期実施計画の時期にあたり、「スポーツを通じて人や地域のつながりをつくるまち」を掲げ、運動公園の整備については、社会体育関連の整備の中で、住民の誰もが生涯にわたり、目的や体力に応じてスポーツを楽しむよう、施設や設備の計画的な整備による安全対策を進める方針

とし、老朽化や耐震性、安全性に対処するとともに、住民のニーズに対応した施設の充実・整備に取り組んでいくこととしている。この方針のもと、運動公園は、これまでも町民がスポーツに親しめる環境をしっかりと確保することを最優先に、必要な修繕等を速やかに行いながら維持管理に努めてきたので、今後も同様に取り組んでいく考えである。

これに関連して、通常の維持管理とは別に、陸上競技場のように広域の大会等が開催される施設については、大規模改修を含め、広域で維持管理していきけるような新たな枠組みづくりや費用の支援について、今後とも引き続き、五所川原圏域定住自立圏の会議の場で協議を重ねながら、県へ要望していきたいと考えている。また、斎場の整備については、第3期実施計画の中で、「快適で住みよい環境へ定住するまち」を掲げ、多様化する火葬場等のニーズ把握に努め、安寧な最後の儀式を行えるよう住民のニーズに配慮した火葬場の整備を図っていくとしている。当町

には中里斎場と小泊斎場、2つの斎場があるが、中里斎場は昭和54年に建設し、平成21年には一部改修を実施しており、小泊斎場は、平成4年に建設され、現在に至っているが、いずれも計画的な修繕を行いながら火葬炉を止めないようにしっかりと維持管理に努めてきたので、今後も同様に取り組んでいく考えである。その一方で、施設の老朽化や人口減少による利用者の減少をも考慮しつつ、町単独での整備維持に固執することなく、圏域の定住自立圏構想の中でも議論できるような提案していきたいと考えている。

公共施設の広域利用については、本県でも下北圏域などで圏域全体の活用や維持について議論が始まったと承知している。それらの進捗状況も参考にしながら、五所川原圏域でもより良い方向に向かえるよう尽力していく。



塚本 悦子 議員

## 業務効率化に向け生成AIを導入する考えはあるのか？ 教育現場での活用と人財育成は！

### 議員

業務効率化に向け、町では生成AIを導入する予定はあるのか。また、効果的に使用できるような職員の人材育成をどのように考えているのか。そして、教育現場での活用とそれを扱う教職員の人材育成の考えを伺う。

### 町長

生成AIによる「創造」の面では、次々と新しいコンテンツが生み出され、さまざまな産業、ビジネスが大変革を遂げ、活用の期待が膨らんでいるところである。その一方で、生成AIによる社会への良くない影響も深刻の度合いが増しており、AIで作り出された誤情報やフェイクがネット空間へ流出することによる犯罪への悪用や軍事利用されることの懸念など、リスクも指摘されており、AIの倫理の規制、運用のルール作りが課題になっている。

こういった状況を踏まえ、当町でも業務遂行の一助として適切に活用したいと考え、8月には「中泊町生

### 教育長

成AIの利用ガイドライン」を策定し、個人情報の漏洩など、町民の皆様が危険にさらされることのないよう、職員に運用ルールを示し、生成AI活用の下地を整えたところである。そして、活用の手始めとして、9月からは、チャットアプリによる対話型アシスタントの試験運用を開始し、10月にはAI会議録システムによる文字おこし機材を庁内に導入するなど、今後、少しずつ業務の効率化による職員の負担軽減や行政サービス向上のため、生成AIを活用していく予定としている。そのためには、人材育成が必要であり、まずは当町の総合戦略課DX推進係に、業務の効率化に有効な活用方法などの情報収集にあたらせ、効果的な研修の機会を設定しながら、職員のスキルアップに努めたいと考えている。

速やかに周知をしたところである。なお、現時点で管内の小中学校で生成AIを業務利用している例や、児童・生徒の課題等で問題となった事例の報告は、承知していない。そのガイドラインは、生成AIの教育利用の方向性について示す一方、個人情報やプライバシーに関する注意点、教育情報セキュリティ、著作権保護なども示されている。教育現場の活用にあたっては、利用規約の遵守はもとより、生成AIに全てを委ねるのではなく、自らの判断が重要であることなどを十分に子どもに理解させることが重要と考えている。また、教職員のAIリテラシーの向上が、近い将来に教育活動で適切に対応する素地を作ることや働き方改革などに繋がることを考え、研修や校務での適切な活用に向けた取り組みを推進する必要があると考えている。

今後も努めて情報収集を行い、情報活用能力を育む教育活動を一層充実させたいと考えている。

6,266万3,180円

決算特別委

財政健全化判断比率

健全化判断比率	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準
実質赤字比率 <sup>※1</sup>	—	—	15%
連結実質赤字比率 <sup>※2</sup>	—	—	20%
実質公債費比率 <sup>※3</sup>	10.6%	11.3%	25%
将来負担比率 <sup>※4</sup>	64.6%	62.2%	350%



塚本 悦子 委員長

決算特別委員会  
日程

- 9月6日  
各特別会計の審議
- 9月7日  
一般会計の審議

▶ 実質赤字比率とは—

広い目的に使われる「一般会計」の赤字額が、地方税や地方交付税等の財源規模(財政標準規模)と比べてどのくらいあるか指標化したもの

▶ 連結実質赤字比率とは—

「一般会計」だけではなく、特別会計も含めた全会計を合算し町全体としての赤字額を指標化したもの。一般の会社で行われている「連結決算」と同じ意味合いを持つ。

▶ 実質公債費比率とは—

借入金の返済やこれに準ずるものが、標準財政規模に対してどのくらいあるか指標化したもの。この数字が大きいほど借入金返済に追われ、資金繰りが苦しい。

▶ 将来負担比率とは—

借入金の返済や将来負担になることになるものの残高を、標準財政規模に対してどのくらいあるか指標化したもの。この数字が大きいと、現在の負担はそれほどでなくても、将来必要になる負担が大きい。

令和5年9月6日から7日までの2日、全議員で構成する決算特別委員会が設置され、令和4年度の各会計歳入歳出決算の審査が行われました。委員長には塚本悦子委員、副委員長には鈴木長一郎委員が就任しました。  
6日は各特別会計が、7日には一般会計が審議され、全会一致で認  
定すべきものとして決定されました。

# 一般会計歳出決算額 96億

## 各会計決算額

会計の別		歳入	歳出
一般会計		9,989,808,240円	9,662,663,180円
国民健康保険特別会計 (事業勘定)		1,424,682,216円	1,396,399,914円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)		149,984,360円	149,983,755円
介護保険事業特別会計		1,858,025,908円	1,830,036,427円
農業集落排水事業特別会計		43,998,556円	42,730,134円
漁業集落排水事業特別会計		24,141,630円	23,322,763円
後期高齢者医療特別会計		286,115,385円	282,357,030円
水道事業 特別会計	収益的収入	346,446,095円	
	収益的支出		279,484,652円
	資本的支出		224,842,234円

### 外崎代表 監査委員 審査意見

補助事業や町以外の財源の有無に関わらず、検証や見直し等は引き続き実施し、費用対効果を一層高められるよう努める必要がある。また、指定管理者制度や委託等の契約によって、人件費等の削減はもとより、一定の管理権限を委任することになるため、計画や業務内容の積算等の際には漏れのないように取り組んでいただきたい。

## 補正予算

(千円)

会計	補正額	補正後総額
令和5年度一般会計補正予算 第3号	10,795	7,425,752

### 補正予算の主な内容

#### 中泊Edyカード ギフトに係る費用

マイナンバーカード新規取得者に対して、楽天Edy2,000円分のポイントを付与するための経費。

**200万円**

#### マイナンバーカード 申請窓口委託費

マイナンバーカードの普及促進のため、各集会所で申請作業を支援するための窓口設置にかかる委託費。

**81万4千円**

## 第3回 臨時会

令和5年第3回臨時会が7月10日に開会しました。濱館町長より提案理由の説明があった後に、議案の審議が行われ補正予算と工事請負契約の締結の2件が原案のとおり可決されました。

## その他の議案など

### ■工事請負契約の締結について

下前海岸2号線道路災害復旧工事について、条件付き一般競争入札による工事請負契約の締結にあたって、議会の議決を求めるもの。

契約の相手方：(株)平山建設 代表取締役 平山久宗 金額1億1,110万円

## 議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています

インターネット配信の視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。



←こちらからも  
アクセス  
できます

役場本庁舎・総合文化センター「パルナス」  
小泊支所・すくすくしたまえ館  
でもご覧になれます。ぜひご利用下さい。

また、議会会議録をネット上で公開しています。

町ホームページ(トップページ → 議会 → 会議録)からご覧下さい。



## 議会活性化特別委員会 (委員長 秋元 隆)

- 令和5年7月10日(月)  
第1回議会活性化特別委員会

〈案 件〉

- (1) 会議録署名委員の指名
- (2) 活動方針及び計画について

- 令和5年8月16日(水) ~ 17日(木)  
先進事例の視察研修

視察先

- (1) 平内町議会
- (2) 三戸町議会

- 令和5年9月5日(火)  
第2回議会活性化特別委員会

〈案 件〉

- (1) 活動計画の見直し及び方針について



## 議会活性化へ、いざ！

～委員会活動がいよいよ本格化～

6月の令和5年第2回定例会で設置された議会活性化特別委員会ですが、委員会(会議)を重ね、活動方針や条例案の作成方法の検討のほか、8月には県内の先進事例を視察しました。

先進事例の視察では、既に議会基本条例を制定し、運用している平内町議会と三戸町議会を視察しました。視察先では説明や質問を通じ、実際の運用状況を細かいところまで目にすることができました。

9月8日(金)の議会終了後には、議員全員参加の研修会を開催し、議会基本条例の必要性などを学びました。講師には、視察で訪れた平内町議会や三戸町議会をはじめ、県内外の議会基本条例や改革に携わる青森大学の佐藤淳教授を招きました。

3時間にわたる研修会でしたが、議会基本条例とは何か、なぜ必要かなどを学ぶだけでなく、議会活性化に向けて議員一人ひとりが共通の意識を持つ機会になったのではないのでしょうか。



## 議会運営委員会 (委員長 野上 憲幸)

○令和5年8月4日(金)  
第5回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 令和5年第3回中泊町議会定例会会期日程及び議会運営に関する事項について
- (2) 決算特別委員会の組織及び委員会日程について
- (3) 新規に受理した陳情などの取扱について
- (4) その他

○令和5年8月25日(金)  
第6回議会運営委員会

〈案 件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) その他



## 広報委員会 (委員長 成田 直人)

○令和5年7月26日(水)  
第3回広報委員会

〈案 件〉

- (1) 議会ガイド第73号(案)について
- (2) その他



## 県内町村議会議員が一同の研修会

7月19日(水)にリンクモア平安閣市民ホール(青森市)で県下町村議会議員研修会が開催され、当町議会も参加しました。この研修会は、青森県町村議会議長会が主催し、講師には、政治ジャーナリストの須田慎一郎氏を招き、「今後の政局・政治展望」と題した講演が行われました。



## 国民健康保険事業の功労者へ表彰



青森県国民健康保険団体連合会からの感謝状を8月1日(火)、川山光則議長に濱館町長から手渡されました。川山議長は旧小泊村の時を含めて、通算10年以上に渡って国民健康保険運営協議会委員を務めており、国民健康保険事業の功労者として表彰されました。

## ウェビナーを活用した研修会

8月25日(金)にオンライン配信で行われる研修会を活用した議員研修会を役場委員会室で行いました。研修会では、弁護士の帖佐直美氏が資料を使って講演する様子を、スクリーンに投影して視聴し、実務や事例を取り上げながら、議員としての活動の注意点、そしてハラスメントについて、改めて確認できました。



## 議会広報紙の制作のポイントは！？



8月31日(木)に青森県労働福祉会館(青森市)で町村議会広報研修会が開催されました。主催は青森県町村議会議長会で、講師には議会広報サポーターの芳野政明氏を迎え、講演が行われました。講演は2部構成で、「議会広報のつくり方」と題した第1部では編集の注意点などを学び、「議会広報クリニック」と題した第2部では、対象の町村議会広報紙を実例として、制作のポイントを学びました。

7月

- 10日 第3回中泊町議会臨時会
- 中泊町議会 議会活性化特別委員会
- 12日 津軽圏域市町村議会議長懇談会
- 19日 県下町村議会議員研修会
- 20日 中泊町ボランティア連絡協議会
- 26日 中泊町議会 広報委員会

8月

- 1日 中泊町議会 議会運営委員会
- 西北津軽郡町議会議長会
- 中泊町地域脱炭素に向けた再エネ導入戦略策定委員会
- 11日 第19回なかどまりまつり(中里)
- 14日 第19回なかどまりまつり(小泊)
- 15日 中泊町二十歳の成人式
- 16日、17日 中泊町議会 議会活性化特別委員会視察研修
- 17日 北五地区農業委員会大会
- 23日 西北つがる地区身体障害者スポーツ大会
- 25日 中泊町戦没者追悼式
- 中泊町少年の主張大会
- 中泊町議会 議員研修会
- 中泊町議会 議会運営委員会

9月

- 1日 第3回中泊町議定会例会(開会)
- 5日 第3回中泊町議定会例会(一般質問)
- 6日 決算特別委員会(各特別会計)
- 7日 決算特別委員会(一般会計)
- 8日 第3回中泊町議定会例会(単行案・閉会)
- 中泊町議会 議員研修会
- 15日 中泊町敬老会
- 27日 五所川原地区消防事務組合議定会臨時会 第2回臨時会

## 傍聴席は、あなたの席です!!

会議は原則、公開されており、どなたでも傍聴ができます。皆さんの傍聴をお待ちしております。  
 令和5年第4回定例会は12月上旬です。令和5年第3回定例会の傍聴は23名でした。  
 ※ご希望の方には、イヤホンをお貸しします。  
 ※議場は車椅子での入場が可能で、専用のスペースがあります。



### 編集後記

▼十月は神無月。「何故、十月は神のいない月と呼ぶのか」と素朴な疑問を持ち、調べてみた。八百万(やおよろず)の神々が出雲の国に集まり、神議(かみはかり)に神様たちの話し合いをする月であるため、島根県では神在月。他の土地では神様が留守になるので神無月。諸説はあるものの、神様が集う大切な月という意味が含まれるとの事。

▼しかしながら、全部の神様が出雲の国に集まるのではなく、留守番の神様や参加しない神様もいるとの事で、七福神の一人、漁業の神様である恵比寿様は忙しくて参加できないため、留守番だそうだ。  
 ▼翻って、小泊地域の漁業者は、好不漁や昼夜の区別なく漁船を操り、スルメイカ・メバルやマグロを懸命に追う姿はどこか恵比寿様に似て忙しく、漁業の神様が留守番でいることでもあり、小泊地域も「十月は神在月」としたならば、季節ごとの回遊魚を持続的かつ安定的に漁獲できるのではないかと、見果てぬ夢だが一瞬そう思う。

〈委員長・成田直人〉